

まちづくりの基本理念と地域の将来像について見ていきましょう。

時の流れ

“時の流れ”を常に意識して、先人の営みを敬い、次につなげるために、現在(いま)のまちづくりを考えていこうという理念を表します。

自然の営み

一人ひとりが自然に感謝し、自然の恩恵を活かす知恵を後世に伝え残すために、自然との調和を基本としたまちづくりを考えていこうという理念を表します。

心のつながり

市民同士の交流と連携を図り、知恵を出し合い、汗を流しながら、心の共有を実感できる一体感のあるまちづくりを、一緒に考えていこうという理念を表します。

地域の力

愛着の深い郷土であることから、自分たちの手で地域づくりを行い、その地域の集合体としてのまちづくりを考えていこうという理念を表します。

新市の基本理念



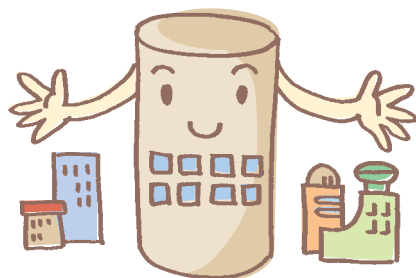
時の流れを意識し、**自然の営み**と
心のつながりを大切にする、
地域の力を結集したまちづくり

この理念を胸に、市民一人ひとりが活躍するまちを目指します。

新市の将来像

21世紀に飛翔する環境先端都市

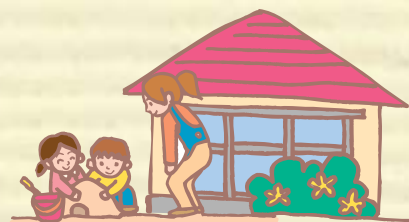
～地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市～



鳥が翼を広げて大空を優雅に飛翔するような新市の姿は、私たちのまちづくりを象徴しています。“北東北の拠点都市”と“地域共生のまちづくり”による、市民一人ひとりが笑顔で暮らすことのできるまちとして、21世紀に天高く飛翔する「環境先端都市」の姿を表しています。

【まちづくりの目標】

新市の将来像を実現するため、各分野ごとに目標を設定します。



1 経済基盤の確立を目指す 環境と調和した産業都市

資源リサイクル産業

関連産業・研究機関との連携を強化し、日本の資源リサイクルに関する拠点形成を目指します。

農業

複合経営体制などを促進し、“安全・安心・おいしい”農畜産物の産地化を目指します。

林業

適切な管理などを推進し、良質な森林資源を守り育て、秋田杉の需要拡大を目指します。

商工業・新産業

地域特性を生かす商業の振興を図ります。また、地域資源を活用した新産業や新起業の創出をすすめます。

観光

豊富で個性的な観光資源を地域交通網で連結させ「人を集める」観光戦略を展開します。



2 自然と調和した潤いのある 環境都市

自然環境の保全と活用

市民や地域を中心とした自然環境の保全を推進し、自然を活用した市民交流の機会の創出に努めます。また、環境教育や新エネルギーの研究開発もすすめます。

水資源の確保と安定供給

貴重な水資源を長期安定的に確保するため、上水道施設の整備を推進します。

水質の保全

公共下水道の計画的な整備など、地域の実情に合わせた排水処理基盤整備を推進します。

廃棄物対策

環境負荷の軽減をすすめる循環型社会の形成を目指します。また、リサイクルプラザを整備し、資源の有効利用とリサイクルへの啓発活動を推進します。

公害対策

測定調査の実施や監視体制強化・公害防止協定の締結などをすすめて、環境保全活動を推進します。



3 健やかで生きがいのある生涯を支える 健康文化都市

保健・医療

一人ひとりの健康状態に応じた、健康づくりを支援します。また、地域格差のない医療体制を整備し、高度な医療にも対応するため広域的な体制の連携強化を図ります。

福祉

子どもを産み育てやすい環境づくりと安心できる介護環境の整備を推進します。また、福祉意識の醸成を図り、市民の「心のバリアフリー」をすすめます。

幼児教育

家庭での学習支援を強化し、教育環境を充実させ、心身の発達と豊かな人間性を培う幼児教育をすすめます。

学校教育・高等教育機関

体験型教育を活用し、「生きる力」を育む教育を実践します。また、施設の統合を含め、適切な教育環境の整備をすすめます。

生涯学習

公民館活動を中心に、生涯学習の環境づくりに努め、地域における指導者の養成、市民による地域づくりにつなげます。

文化・芸術

市民の芸術文化活動を支援する環境づくりをすすめます。また、歴史伝統を後世に継承するため、資料の収集・保存などに努めます。

スポーツ・レクリエーション

市民が身近で気軽に活動できるよう、施設の有効活用、指導者の確保など、活動のきっかけづくりに努め、新市にふさわしいイベントの開催などにも取り組みます。

人権尊重

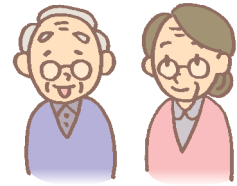
多様な人権学習の機会を創出します。また、男女共同参画社会の実現に向け、立場・性別にとらわれない平等の意識醸成に努めます。

国際交流・地域間交流

様々な国や地域と活発な交流を行い、心豊かで国際感覚を身につけた人材育成につなげます。

コミュニティ活動

活動拠点として各地域公民館を整備・拡充します。また、デジタルコミュニティ環境が特に重要なことから、高度情報基盤を整備し、市民の情報選択・発信の能力向上を図ります。



4 利便性が高く安全な暮らしを支える 快適生活都市

高速交通体系

大館能代空港の輸送力増強、事業中の日本海沿岸東北自動車道の整備・全区間開通実現に向けて拠点都市機能の向上を目指します。

地域内道路網

幹線道路の整備・改良と生活道路の計画的整備をすすめます。また、除排雪の強化とともに、融雪・流雪などの施設整備をすすめます。

公共交通体系

奥羽線の複線化・ミニ新幹線化、花輪線の東北新幹線との接続改善を働きかけていきます。また、バス路線の確保とルート拡大に努めます。

情報通信基盤

高度情報ネットワークの基盤整備を国・県とともに推進し、また、それを活用した地域連携をすすめ、地域コミュニティを再生するまちづくりを目指します。

定住環境

計画的な公営住宅の整備を図ります。また、生活環境基盤施設の効率的な整備を推進します。

地域安全 (防災・消防・交通安全・防犯)

市民生活の安全を確保するため、市民や地域の協力のもと、災害に強いまちづくりをすすめます。

5 自立した地域が共栄する 地域協働都市

地域自治

施設など環境整備のほかに、市民が積極的に参加した地域自治の組織の仕組みをつくり、地域コミュニティの活性化に結びつけます。

行財政運営

地域活動を支援する環境整備と、まちの発展に向けた計画的な基盤整備を行い、合併のスケールメリットを生かし、新市の将来像実現を目指します。



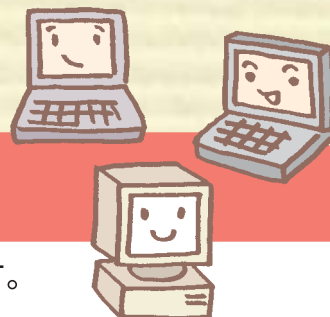
【まちづくり重点プロジェクト】

新市の長期的発展と一体性確保に資する事業を重点プロジェクトと位置付けて、最優先事業として推進します。

1

デジタルシティ（高度情報都市）プロジェクト

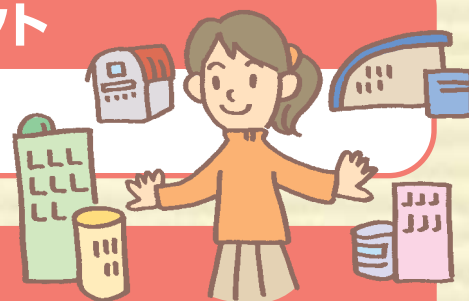
北東北の拠点都市にふさわしい、高度情報ネットワークを整備します。



2

地域コミュニティの拠点づくりプロジェクト

各地域にコミュニティづくりの拠点施設となる、公民館の整備と機能の拡充を図ります。



3

次世代資源循環型社会形成プロジェクト

資源リサイクル産業を中心に、様々な研究・教育機関と連携して、資源循環型社会の“未来”を研究し、実現を目指します。

4

産業振興、起業支援、雇用拡大プロジェクト

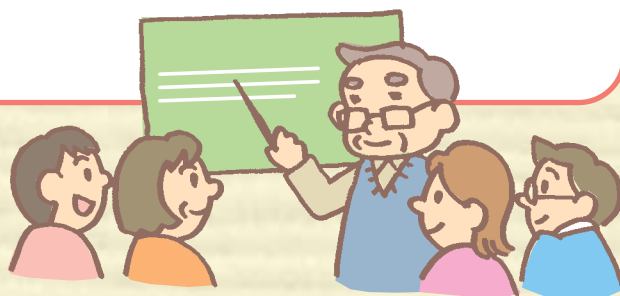
これまで地域を支えてきた農林業、商工業を再構築・活性化するために、関係機関と連携して、新市が自立できる産業基盤の整備を促進します。

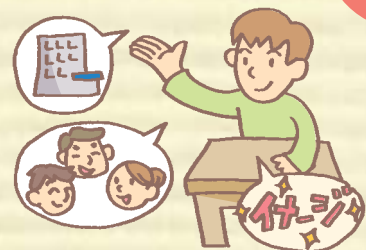


5

地域防災、危機管理体制充実強化プロジェクト

安全で安心なまちづくりを推進できる地域防災危機管理体制の充実強化を図ります。

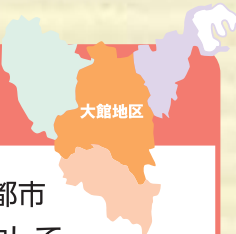




【地域別の将来ビジョン】

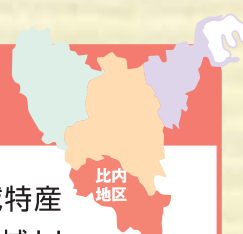
各地域ごとの将来ビジョンと重点施策について見ていきましょう。

大館地域



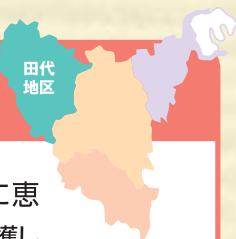
新市の中心に位置し、各種の都市機能が高度に集積し人口が集中していることから都市基盤施設の拡充整備を推進し、拠点機能を一層高めるとともに、地域の特性を活かしたリサイクル産業の振興や企業誘致の推進、地元企業の育成等による雇用の創出と安定化を促進します。また、豊富な農林業資源を維持し環境を保全しながら、生産性の向上と生活基盤の整備を促進します。さらに、福祉総合エリアを中心とした各種福祉サービスの拡充を図りながら、すべての住民が健康で安心して暮らせる快適なまちづくりを推進します。

比内地域



トブリや比内地鶏など地域特産物の生産振興と良質米の生産地域として生産性の高い農業の基盤づくりをすすめるとともに、豊かな自然環境と温泉資源を活用した滞在型の都市農村交流による観光振興をすすめます。また、扇田地区商店街の活性化に取り組むとともに、良好な住環境の整備により定住人口の拡大を推進します。特色ある地域コミュニティ活動の一層の充実・強化を図るとともに、住民と行政の協働により地域の伝統を守り、新たな文化交流の充実を図ります。福祉施設の充実や公共施設のバリアフリー化をすすめます。

田代地域



白神山系田代岳などの自然に恵まれた地域であり、自然環境を保護し、観光、循環型農業、林業の振興に努めます。地域の拠点として早口駅周辺整備を推進するとともに、地域人口定住をすすめるための快適な住宅供給と宅地開発、住居地区間道路網等アクセス向上などの居住環境整備を図り、未永く便利で安心して暮らせる地域を目指します。住民の自発的なボランティア活動などの連携を密にして、一体的な地域福祉のまちづくりを目指すとともに、学校や家庭、地域社会との連携強化による創造性と思いやりを育む人づくりを推進します。

小坂地域



鉱山技術を活かした金属資源の再生や生ごみ・家畜ふん尿などの有機物の堆肥化を促進し、多面的な循環型社会の形成をすすめます。十和田湖の自然や康楽館・小坂鉱山事務所などの産業文化遺産を活用した観光振興および地域全体をまるごと博物館として保存・展示していきます。消費者に安心・安全な食糧を提供するための基盤整備を行い新たな起業を創出していきます。医療・福祉・生涯学習などが一体となった健康づくり、まちづくりを担う人材を育成し、住民が学習・提案・行動していく実践的拠点づくりをすすめます。